

## 再エネ設備情報及び省エネルギー対策の取組内容の公表資料

### 設備概要

47.61kW の太陽光発電システムで、年間の想定発電電力量は 50,724kWh。

設備	メーカー	型式	出力	数量
太陽電池モジュール	ネクストエナジー・アクト・リソース株式会社	NER120M345J-MB	47.61kW	138 枚
パワーコンディショナ	華為技術日本株式会社	SUN2000-20KTL-M3	20kW/台	2 台

### 導入場所

178-0061 東京都練馬区大泉学園町 7-10-21 サービス付き高齢者住宅屋上に設置。

### 導入目的

省エネルギー・CO2 削減：屋上に太陽光発電を設置することで、施設で使用する電力の一部を自己生産することができ、電力消費の削減や CO2 排出の削減につながります。

経済的なメリット：太陽光発電は導入費用がかかる一方、長期的には電気料金の節約によってコスト削減につながります。

### その他の事業者の再エネ設備導入の参考になる情報

導入する再エネ設備によっては災害対策にもつながります。例えば、太陽光発電設備で停電時にも電力を一部確保する事が可能となり、また蓄電池を導入すると日中以外でも電力が使う事が出来るようになります。

再エネ設備導入には様々な補助金・助成金が存在しており、導入費用を抑える事で経済的にもメリットが生まれます。

### 省エネルギー対策の取組内容

- ・既存のオフィス蛍光灯を間引きしている。
- ・照明設備が故障して修理不可の場合は LED に入れ替える。
- ・太陽光発電を設置して電力を自己生産している。
- ・蓄電池の導入でピーク時の購入電力量を減らす。
- ・クールビズを実施。
- ・共用部の照明制御（人がいないときは各自消灯する）。
- ・印刷機のメインモータを高効率なものに更新。
- ・オフィス内空調機の温度設定を基本的に夏は 28 度、冬は 20 度で設定。
- ・エアコンのフィルター及び室外機の清掃を定期的に行う。